

質疑：土台の設計で質問です。

- 土台の幅は、欠損（アンカーボルト M12）を考慮して入力しているのですが…考え方に間違いは無いでしょうか？
- 一般部土台の設計で、金物⑩の両端にアンカーボルトを配置しているのですが… 両端 にアンカーを配置する必要はありますか？
また、必要ない場合の L1 の距離は、200cm-L2 で良いでしょうか？

回答：『KIZ-sub』の[土台の設計]の質疑として回答します。

- 1) 本来の根拠書籍は、「3階建て木造住宅の構造設計と防火設計の手引き」です。類似の検討は、「木造軸組工法住宅の許容応力度設計（2008年版）」に示されています。
- 2) この検討の目的は、土台と柱の接合金物（柱脚引き寄せ金物）を介して、土台に働く（曲げ）（せん断）に必要な部材寸法（プログラムでは、必要最小の土台部材のせい）を求めます。
設計土台のせい以上が必要となった場合は、柱脚金物は、ホールダウン金物の様に土台を貫通した[引き寄せ金物アンカーボルト]を使用して、土台に力が働かない仕様にします。
これは、柱の端部では、一般に[HD-B15]以上を使用する場合は、土台に[座金留め]では無く[基礎埋め込み]仕様なので、土台の（曲げ）（せん断）の検討は、不要との根拠です。
- 3) 検討箇所は、[端部：柱近傍の土台アンカーボルト 1か所] [一般部：柱近傍の土台のアンカーボルト 2か所]です。
[土台アンカーボルト]は、力学モデルの[支点]の役割です。 よって、[一般部]でも検討する柱/土台の近傍にアンカーボルトが 1か所の場合は、[端部]と同様に[片持ち梁（力学モデル）]で検討します。【質疑の回答部分】
- 4) 最近のスクリーナ釘接合金物の耐力が大きくなってきて、使用する場合は、この検討が必須です。 この時、土台アンカーボルトの位置での（曲げ応力）が最大となるので、取り付け位置の座掘りを考慮して、必要断面を判断します。【質疑の回答部分】